

日 時 : 2012 年 6 月 21 日(木) 13:00 ~ 17:00

場 所 : 塗料報知新聞社 会議室

出席者 : 窪井要((有)久保井塗装工業所)、杉山博英(アネスト岩田(株))、内山貴識(東和酵素(株))、島田哲也(旭サナック(株))、早川政男(第一塗装工業(株))、小泉栄(株)小泉塗装工業所)、小柳拓央(小柳塗工所)、木下稔夫((地独)東京都立産業技術研究センター)、卯城直樹(大塚刷毛製造(株))、平野克己(日本塗装機械工業会)、倉持保雄(日本工業塗装協同組合連合会)、福田良介(日本パウダーコーティング協同組合)

アドバイザー: 坂井秀也(日本工業塗装協同組合連合会技術顧問)

オブザーバー: 藤井俊治(株)三菱化学テクニサーチ)

木下真生(日本塗装機械工業会次期会長)、山崎秀雄(日本工業塗装協同組合連合会会長)

ゲスト: 木村祐紀、矢野明子(東京都 環境改善部)、佐藤澄(関東経済産業局 地域経済部)

19 名 敬称略

\*\*\*\*\* 議 題 \*\*\*\*\*

1. サポイン進捗状況/普及活動

(1) サポイン進捗状況

- ・6月19日締切後審査を経て7月中旬頃に申請企業が認定される。当協議会参加会社からも2件申請中。
- ・平成21年以降は600件以上の認定。認定社数は関東に集中。
- ・認定企業の中から「特定ものづくり基盤技術」に指定されると研究開発費が得られる。

(2) 普及活動

- ・名古屋(3/29)、東京(4/5)のサポイン説明会セミナー参加者数は両会場とも70名程度。
- ・関西工業塗装協同組合へ説明会を実施し(5/24:総会)40名参加。

(3) 今後の普及活動

- ・サポイン申請方法を含めた取り組み事例などセミナーを通じて発信する。
- ・塗装専門家や小企業を中心に説明を行ってきた。日本塗料工業会など他の塗装業界や日本自動車工業会など各産業界組合へ働きかけ、川下とされる企業への認知を進める必要がある。
- ・「基盤技術」に指定されなくても認定企業となれば大きな融資があり、詳しい説明が中小企業に必要。
- ・サポインは技術発展が目的。融資を受けることが主目的ではないことも説明に加えていく。

(4) 工業塗装高度化協議会の役割

- ・塗装技術の切り口で分かり易くまとめ、長期的な日程で具体的な事例など発信。
- ・将来はコスト削減や環境対応からではなく、技術開発や経営革新から生まれる塗装技術を目指したい。
- ・塗装技術から塗料が設計されるような技術革新につながるように期待し活動を展開する気持ちが必要。

2. 東京都 VOC セミナーについて

- ・木村祐紀氏、矢野明子氏(東京都 環境改善部)より東京都の夏の VOC 対策として、光化学スモッグや大気中微小粒子物質の生成原因となる VOC の排出削減に向けた種々の推進事項が紹介された。

- ・VOC 取扱事業者向けに「平成 24 年度 VOC 対策セミナー」が 7 月に実施される。

当協議会から内山分科会副会長が 26 日に発表。



- ・当協議会関係者の講演(全3回のセミナーで講演)  
「都内におけるVOCの現状と東京都のVOC対策」講師:木下稔夫氏  
「工程改善によるVOC削減対策の事例とメリット」講師:坂井秀也氏
- ・発表内容の重複記載内容確認を別途3者(木下、坂井、内山)で行う。
- ・セミナー日程・場所

会場:都民ホール(新宿区西新宿2-8-1 都議会議事堂1階)

| 回 | 開催日      | 開催時間                                    | 主な対象業種   | 定員   |
|---|----------|---|----------|------|
| 1 | 7月11日(水) | 【セミナー】PM2:00~3:55<br>【個別懇談会】PM4:05~4:50 | 印刷       | 250名 |
| 2 | 7月18日(水) |   | 金属加工 めっき | 250名 |
| 3 | 7月26日(木) |   | 塗装       | 250名 |

東京都「平成24年度VOC対策セミナー」資料より

### 3. 工業塗装高度化協議会の各業界団体合意について

- ・6/22(金)15:30~CEMA 総会終了後、3団体代表による工業塗装高度化協議会合意書を取交わし予定。  
3団体:日本工業塗装協同組合連合会、日本塗装機械工業会、日本パウダーコーティング協同組合
- ・合意文書内容については、幹事を通して各団体代表で整合された。

### 4. 2012年工業塗装高度化協議会 環境技術分科会の活動計画

#### (1) 活動の目的

- ・VOC、環境対応、塗装技術、ものづくり(サポイン)など項目別の計画を策定し分科会でまとめる。
- ・基本は塗装技術や塗装環境等の情報の受発信に徹する。
- ・サポインの塗装業及び塗装業界への普及に努める。

#### (2) 具体的な情報発信内容

- ・7月に塗装業のサポインに認定された企業が発表されることから取り組み事例を発信し普及につなげる。
- ・平成24年度にVOC削減が達成されるも詳細の情報が不明であり情報を収集し発信する。  
平成12年度から10年間のVOC削減は一定以上の成果があり。  
企業母数増加を狙い今後10年間の更なるVOC削減に向け取り組むためにも詳細情報の提供が必要。
- ・11月を目標にサポイン及び環境対策セミナーを始動。
- ・セミナー実行委員発足。窪井分科会長、内山、高橋副分科会長+α、事務局。毎月実施する。

#### (3) 11月セミナースケジュール(案)

- ・7月から具体的にスタートしなければ11月開催は難しい。

| 回 | 日程     | 項目  |
|---|--------|---|
| 1 | 6月21日  | セミナー実行委員会発足   |
| 2 | 7月下旬   | 具体的実施内容の決定 規模、会場、時間、参加者、講演者、タイトル<br>当会以外の講演者の場合、事前確認を実施 |
| 3 | 8月     | 第42回環境技術分科会で報告<br>発表内容決定の最終決定、講演者へ正式発信、発表資料の提出と締め切り     |
| 4 | 9月     | プログラム作成、進捗確認(講演者発表資料など)                                 |
| 5 | 9月下旬まで | 各塗装団体などへ開催案内を発信(郵送、メール)                                 |
| 6 | 10月    | 第43回環境技術分科会で報告 セミナー準備、会場の役割担当                           |
| 7 | 11月    | セミナー開催  |

- ・次回セミナー実行委員会の日程はセミナー実行委員より発信。

### 5. 次回予定

第42回 環境技術分科会 2011年8月22日(水) 13時 ~ 17時 塗料報知新聞社 会議室

— 以 上 —